



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

年初まで楽観一辺倒で続いて来た「適温相場」は突如終焉を迎えました。きっかけはやっぱりトランプ米大統領です。鉄・アルミの関税強化に始まって、中国に対する貿易制裁を視野に入れた圧力強化により、米中貿易戦争懸念がマーケットに広がり、グローバルな経済活動への悪影響を織り込む動きへと市場環境が激変したわけです。

トランプ氏の発言、そして中国の反応にマーケットは日々ビビッドに反応していて価格の上下振れ幅は大きく、まさに一喜一憂相場です。冷静に見れば中国経済における米国依存度は絶大で、中国が衝突回避へと譲歩することで实体经济への影響は早晚吸収されると考えられますが、米中間選挙を意識してますます予測不能なトランプ動向に市場の荒れ模様は暫し続きそうです。

右肩上がり相場が永劫続くことはあり得ぬことで、マーケットは今沸きだしたマイナス要因に恐れ、ことさら敏感になっていますが、長期投資家にとっては世界の実体経済活動が10年振りの一体的好況にある中での、相場のしつこいノイズ（雑音）です。市場の短期筋参加者と一緒になって右往左往する必要もなく、無論行動を決して変えるべきではありません。とりわけ積立投資家にとっては、市場の下落は安い仕込みを可能とする朗報であって、淡々と買い進んでおけば将来のリターン向上に貢献することになるはずはです。

相変わらず先進国経済の需要は堅調で、新興国も需要が増えています。需要増大が経済成長の源泉であり、世界全体の需要がこれからも増え続ける限り、長期的な地球経済の安定成長軌道は堅固です。ちょっと騒がしい足元のノイズですが、泰然と聞き流しつつ、どっしりと長期投資の旅を続けてまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 3月の市場動向

**株式：**【保護貿易の動きが強まり、将来の経済成長が抑制されることに対する警戒が広がって下落】

米国が自国産業の保護などを目的として、輸入に対する関税を課す方針を相次いで打ち出し、欧州連合（EU）や中国が対抗措置を講じる方針を示したことを受けて、経済のグローバル化の動きが停滞し、将来の経済成長が抑制されることへの警戒が広がり、下落しました。

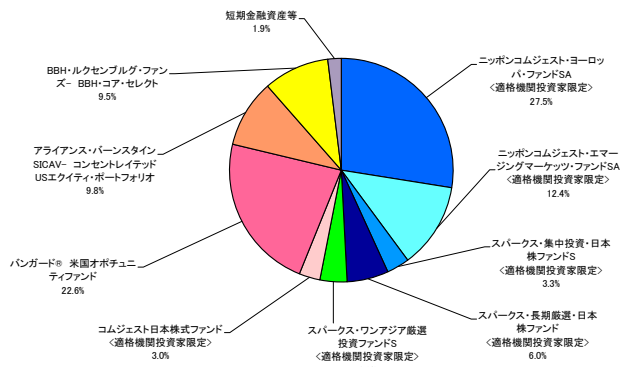
**為替：**【ドルが軟調な展開となる一方で、ユーロが堅調。円はやや堅調な展開となり、対ドルで円高、対ユーロで円安】

保護主義の動きを強めている米国が輸出に有利なドル安を志向するとの見方が強まったことを背景にドルが軟調な展開となる一方で、ユーロが堅調な展開となりました。円は先行きに対する不透明感が広がりリスクを避ける動きが強まるなかで、やや堅調な展開となりました。

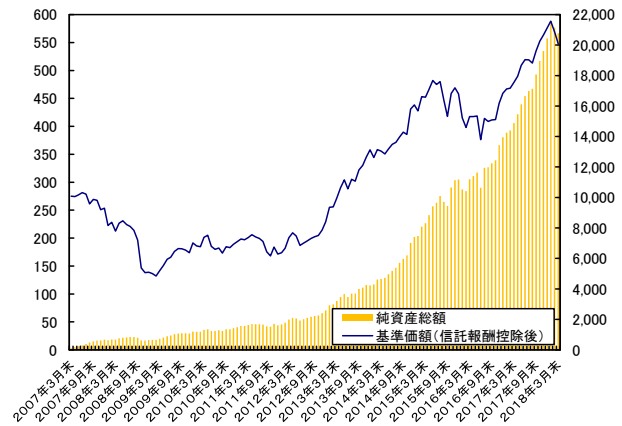
基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年3月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
20,077円	566.9億円	+100.77%	-3.81%	+2.31%	+14.38%

資産配分状況（2018年3月30日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 3月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月からほぼ変わらず、月末時点で1.9%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

一般的には、長期は短期の積み重ねであると認識されていますが、市場で日々取引が可能な株式への投資においては、長期的な成果を得る為に必要なものと短期的な成果を得る為に必要なものが根本的に異なっているため、必ずしも短期的な成果が長期的な成果を示唆する訳ではありません。

具体的には、短期的な成果を得るためには、価格の動きを正確に予測する必要があるのに対して、長期的な成果を得るためには、価値があるものを割安な価格で購入する必要があり、長期的な成果のみに焦点を当てて投資を行っている場合、短期的な成果の面で、忍耐を強いられることがあります。

ただ、短期的に忍耐を強いられることがあるが故に、長期的な成果を得るための投資には相対的に人気が無いことから、短期投資よりも長期投資の方が、有利な投資機会を見つけることが出来る可能性が高いと認識しています。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### ◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

### ◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

### ◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

#### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

#### その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）